

# 南の風

—第2号—

あっという間に春が過ぎ去り、雨の季節になりました。新型コロナウイルスの影響で制限の多い中ではありますが、子どもたちが安心して楽しく学習できるよう、緊張感を持って感染対策をしながら、日々の教育活動に取り組んでいきたいと思ひます。今月、各学部の授業の様子を紹介しします

## 小学部



小学部の花壇では、ナス、トマト、ジャガイモ、コマツナ、ヒマワリなどが元気に育っています。トマトやナスは1・2年生の生活科。コマツナは、3年生の理科で、モンシロチョウを呼んで卵から育てるために植えています。ジャガイモは、6年生が理科の実験に使います。家庭科の調理実習で材料にすることもあります。

生物を持ち込めない病棟では、オンラインで花壇とつなぎ、リモートで観察をしています。

そして、休み時間には、子どもたちはこの花壇の周りで虫捕りをしたり、車いすで走り回ったりして元気に遊んでいます。

病院の中にある学校でも、できるだけ自然とかわり、体験を伴った学習ができるようにと考えています。

## 中学部

中学部では、週に1から2時間、自立活動という授業があります。自立活動は、入院しながらの学校生活を有意義なものにするために、生徒一人ひとりが「気持ちの安定」や「健康の保持」、「コミュニケーション」などの目標をたて、創作グループや表現グループ、運動グループに分かれて、いろいろな活動に取り組んでいます。今年度は、感染症対策をしたうえで他学年との活動ができるようになり、普段あまり関わることのない生徒同士が楽しんで活動している様子が見られ、充実した活動が行えているように感じています。

今年度も引き続き、感染症対策のため活動に制限がありますが、昨年度の経験を踏まえ、生徒会と協力しながら、生徒が楽しめる活動も行っていきたいと考えています。



## 重心部門

重心部門では、昨年度に引き続き、児童生徒が学習できる環境を整え、居室または教室、プレイルームなどで授業を行っています。すみれ部屋の児童生徒は、児童生徒が生活している施設の協力を得て、居室に教員が訪問して授業を行っています。たんぽぽ部屋の児童生徒は、施設と同じフロアにある教室に登校し、密集を避け少人数で活動をしています。

授業は、教員が児童生徒の実態に合わせて行っています。生活・制作・音楽・運動の時間には季節やテーマに合わせた素材を使い、児童生徒の感覚を刺激できるように授業づくりを行っています。今月すみれ部屋では、生活の時間に「かえうたかえうたこいのぼり」の絵本でお話あそびをしました。扇風機の風になびくこいのぼりを肌で感じたり、菖蒲の香りの入浴剤の入ったお湯を袋にいれ、手や足につけたりしました。

感染症対策により、活動に制限がある中でも、児童生徒の発声や身体の動きから出る表出を丁寧に読み取りながら、一日一日楽しく過ごせるような活動を行っていきたいと思います。



### 6月行事予定

2日(水)	尿検査(二次 小中学部)	22日(火)	尿検査(三次 小中学部)
9日(水)	心臓健診 9:00~ (小1・4、中1、高1)	弘済会コンサート	
16日(水)	木曜日課(重心) 耳鼻科健診(重心 13:45~)	25日(金)	歯科健診 重心病棟 10:00~ 小中学部 13:00~
16日(水)~18日(金)	1学期期末試験(中学部)		
17日(木)	水曜日課(重心)		